

令和5年度 倉敷市地域福祉基金助成事業実施アンケート

助成期間:平成30年度～令和3年度

団体名:愛あい広場

一年活動をしての感想

※参加者に喜んでもらったこと、地域福祉基金からの助成がこういったことに生きていることなどを自由に記載してください。

①実施した内容

コロナの影響がまだ残っていて、ハンドベル演奏をクリスマスの時期に4回行いました。
またバルーンアートやサイコロ転がしなども行うことができた

- ①5月6日「玉島市民交流センターでこどもの日イベントでバルーンアートをする
- ②5月14日「なんぼ虹いろの会」でバルーンアートで兜を作る
- ③9月15日「玉島ちびっ子大集合」でジャンボサイコロで遊ぶ
- ④12月9日「なんぼオーシャンくらぶ」の高齢者サロンでクリスマスソングの演奏を15人でする
- ⑤12月17日・穂井田学区の「ひだまりカフェ」のクリスマス会に参加
子ども56名・大人28名・支援者7名
- ⑥12月23日「沙美スイトピー」の高齢者サロンで3曲のハンドベル演奏を楽しむ
- ⑦1月16日南浦愛育委員会でハンドベル演奏

②参加者の感想

・〇〇〇に参加した参加者の方から「〇〇できるようになったよ。ありがとう」という言葉を掛けてもらった。

- ・バルーンアートはいつでも子供にも人気があります。自分でできると満足な笑顔を返してくれます
- ・ハンドベル演奏は初めてで、持ち方もわからなかったが、きれいな音色で、とっても楽しかった
- ・兜のバルーンはかっこよく人気があり、喜ばれた
- ・また機会があれば演奏してみたい
- ・触ることも初めてのハンドベルでしたが、最初はこわごわ持っていたが心地良い音色に魅了されたのが最後はまだまだと言って放さない子もいた
- ・親からは「またしたい」そして私達も演奏したかったと口々に言われたのは、予想外の嬉しい声でした

③地域福祉基金の有用性

・本来ならできていなかったが、地域福祉基金があったので、〇〇まですることができた。

- ・福祉基金のおかげで、バルーンアートやハンドベル演奏そしてジャンボサイコロが楽しめた。
- ・色んな人との出会いがあり、嬉しかったです
- ・ハンドベルの演奏は交流のツールとして、これからも取り組んでいきます

④今後の展開・夢

・今後は、〇〇するところまでできたらいいと思う。〇〇し、〇〇に喜んでもらうのが夢だ。

今後地域に出向き交流が深まってくると嬉しいです

※このアンケートは、地域福祉基金の助成を受けたことのある団体から、事業開始後5か年度の期間提出していただくものです。